

33 アートの会 7月度 座学 報告

日時；7月16日 水曜日 13:15 から 16:30

場所；205 講義室

参加者；庄司、田中、小林猛、榎本、岡田、天王寺谷、吉田、稲垣、光長、高濱、辻井、清水、山川夫妻、安居院（記） 計15名

ルノアール特集

みなさんよくご存じのルノアールに焦点を当ててみます。

まず、簡単な紹介番組を見てみます。これで概要を理解していただいたところで、映画「ルノワール 陽だまりの裸婦」を鑑賞しましょう。晩年のルノアールを描いた作品です。

そしておなじみの山田五郎さんの深堀解説を3つ見ます。「美少女の末路」「ムーランドラギャレット」「ジョルジュ・ジャコブ・シャルパンティエ嬢」あっと驚く展開が待っています。

1. これでわかる ルノアール〈美術〉 13:15-13:25

女性を描くのが大好きだった印象派の画家ルノアール。

「人生には不愉快な事柄が多い。だからこれ以上、不愉快なものを作る必要はない」と言って幸せな絵をいっぱい描いています。

彼の歴史と、その時の作品群が紹介されます。

われわれは、それを見ると「ああ、この絵は見たことがある」と誰もが思い出すことができます。

日本人には、とても身近な存在、ルノアールに迫ってみましょう

20歳の時、シャルル・グレールの画塾に入る。



42歳～47歳頃

60歳～



2. 映画「ルノワール 陽だまりの裸婦」 13:25-15:15

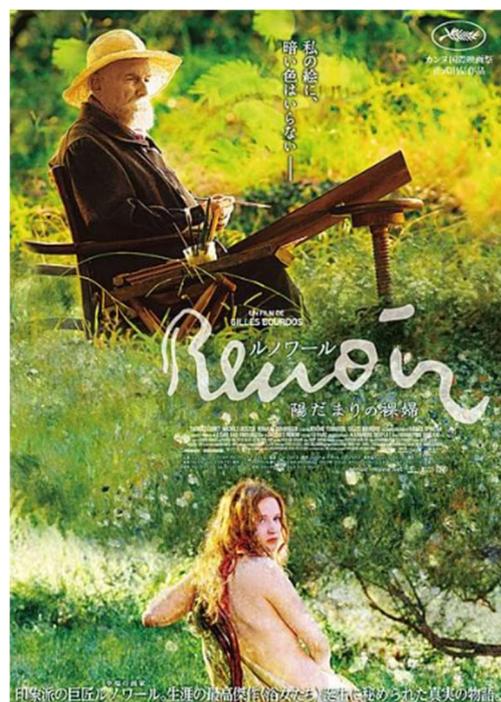
2012年 フランス映画

解説・あらすじ

印象派を代表する画家で、日本でも高い人気を誇るピエール＝オーギュスト・ルノワールの晩年を描いたドラマ。

南仏コート・ダジュールを舞台に、自由のきかない手で懸命に創作を続ける晩年のルノワールと、後に仏映画界の巨匠となる息子ジャン・ルノワール、そして、父子2人のミューズとなったモデルのアンドレが織りなすドラマや、画家ルノワールの最高傑作「浴女たち」誕生に秘められた真実を描き出していく。

ルノワールのひ孫で、写真家としても活躍するジャック・ルノワールが執筆した画家ルノワールの伝記小説が原作。



感想: デデというモデルが中心のドラマ。父と息子のジャン二人のミュージズになる。

心理描写が細かすぎる傾向があって、ドラマの展開がのんびりしており、何が言いたいのかよくわからないまま進んでいく。でも、画面の美しさは素晴らしかった。デデも惜しげもなく裸をさらけ出し、ルノワールは。まさに生きた肌を描き切ったのだ。健康な肌のミュージズの出現に画家として非常に満足していた。

そして、足の傷の癒えたジャンもデデに好意を持つ。そして自分の映画に出演してもらおうと考える。

そして後に実際に映画はでき、夢は叶ったと最後の解説にあったが、二人は幸せにはなれなかった。

映画の中でルノアールの言葉がちりばめられており、それに感動しながら見せていく構成であった。

貧乏であったモネやルノアールが、やっと認められて裕福になったころの話である。

お手伝いさんも大勢いて、ルノアールの介護を受け持っていたり、写生する場所への移動も彼女たちの手で椅子ごと運ばれる様子が描かれていた。

モデルとお手伝いさんたちの関係性を描かれていて興味深かった。果物ひとつでもルノアールのモデルであるという認識に吃驚した。これはあまりにも持ち上げすぎであろう。デデがこれに反抗したことは、とてもよく理解できるエピソードであった。

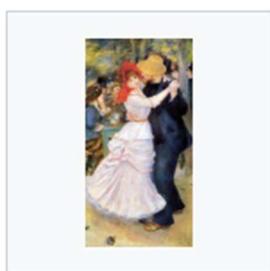
映画では描かれていなかったが、このカーニュの地でルノアールはモネをはじめ画家仲間との交流を深めた。この映画はまるで、絵画のような味わいのある画面の連続であった。そのことに一番感心した。

もう少しこの映画を味わうために、分かり難かったところを補うために、参考になる話題を拾ってみる。

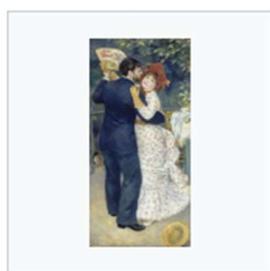
- ① 1894年、アリーヌとの間に、後に映画監督となる二男ジャン・ルノワールが生まれた。この年、アリーヌの遠縁の女性ガブリエル・ルナール（英語版）が、ルノワールの家のメイドとして働き始め、ジャンの世話をするだけでなく、ルノワールの絵のモデルも務めた。1896年の『画家の家族』には、「ラ・ブレイヤール」の庭先に、長男ピエールとその母親アリーヌ、幼いジャンとそれを支えるガブリエル、隣家の少女が勢揃いしているところが描かれている。
- ② 1894年2月、カイユボットが亡くなったが、カイユボットは、その遺言で、マネや印象派の作品68点をリュクサンブール美術館に、後にルーヴル美術館に収蔵すべく遺贈しており、その遺言執行者としてルノワールを指名していた。そのため、ルノワールは、この遺言実現のため奔走することになった。しかし、保守的な美術界や世論は、コレクションの受入れに反対し、大きな論争となった。結局、1896年、コレクションの一部がリュクサンブール美術館に収蔵されることで妥協が成立した。ルノワールの作品は8点中6点が受け入れられた。
- ③ 1901年、エソワで、アリーヌとの間に、三男クロードが生まれた。その頃、リューマチで階段を上がるのも難しくなったことから、モンマルトルのコーランクール通り（フランス語版）に移った。
- ④ 1903年、南仏カーニュ＝シュル＝メールで、郵便局のある建物（ヴィラ・ド・ラ・ポスト）に住むようになった。子煩悩なルノワールは、これまでも、長男ピエール、二男ジャンをモデルに多くの作品を描いてきたが、三男クロード（愛称ココ）が生まれてからは、クロードの成長記録のように更に多くの作品のモデルとした。
- ⑤ 1911年10月、レジオンドヌール勲章4等勲章を受章した。1912年、手術を受けたが、良い結果にはならなかった。この年、デュラン＝リュエルがカーニュを訪れ、椅子から立ち上がることもできないルノワールの様子を見るが、「描く時は、かつてと変わらない、上機嫌で、幸福な彼を見ることができた。」と語っている。動かない手に絵筆を縛り付けたルノワールの写真が残っている。アルベール・アンドレによると、縛り付けた絵筆は制作中は外せないため、絵具を変える度に絵筆を洗わなければならない、画面とパレットと筆洗との間を慌ただしく行き来するうちに、腕は疲労で硬直していたという。こうした苦闘の中から、歓喜に満ちた作品を生み出していった。
- ⑥ 1914年、息子ピエールとジャンが出征し、負傷した。1915年、妻アリーヌは、負傷したジャンを見舞い

に行った帰り、糖尿病が悪化して56歳で亡くなった。

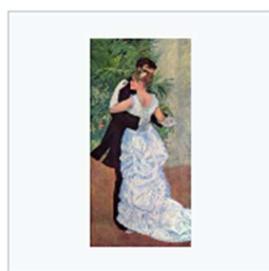
- ⑦ 1919年2月、レジオンドヌール勲章3等勲章を受章した。その年、ルーヴル美術館が『シャルパンティエ夫人の肖像』を購入し、ルノワールは、美術総監に招かれ、自分の作品が憧れの美術館に展示されているのを見ることができた。
- ⑧ 同年12月3日、カーニユのレ・コレットで、肺充血で亡くなった。ルノワールは、死の数時間前、花を描きたいからと言って筆とパレットを求め、これを返す時、「ようやく何か分かりかけてきたような気がする。」とつぶやいたという。もっとも、この伝説の出所は不明であり、デュラン＝リュエルによれば、「私はもうだめだ。」とつぶやいたという。長男ピエールによれば、「2日にわたり肺の鬱血に襲われたが、心臓が止まった時には回復していた。彼の最後の瞬間はかき乱され、半ば無意識の一時的錯乱状態でよくしゃべったが、直接彼に話しかけると大丈夫だと答えた。それから彼はまどろみ、約1時間後に呼吸は止まった。」という]。
- ⑨ ルノワールの訃報を聞いたモネは衝撃を受け、「とてもつらい。私だけが残ってしまったよ。仲間たちの唯一の生き残りだ。」と友人に書いている。



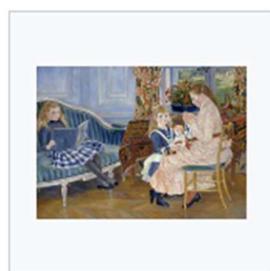
『ブーヅヴァルのダンス』



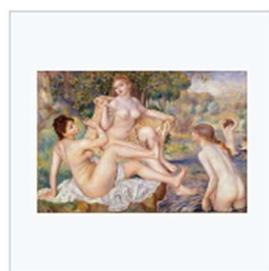
『田舎のダンス』



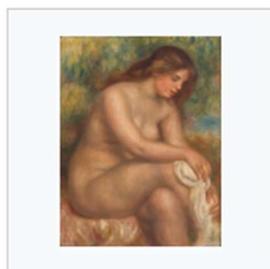
『都会のダンス』



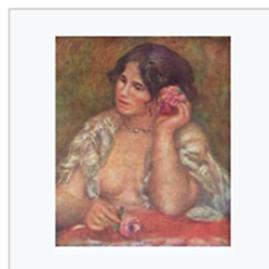
『ヴァルジュモンの午後』



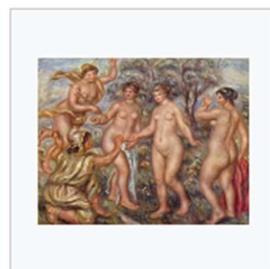
『大水浴図』 1884-87



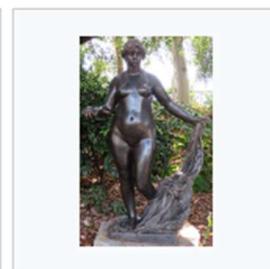
『足を拭く浴女』



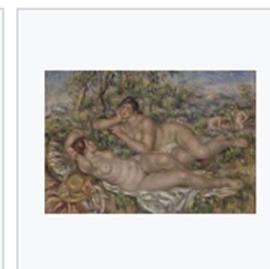
『薔薇を持つガブリエル (イタリア語版)』



『パリスの審判』



『勝利のヴィーナス』



『浴女たち』 1918-19

2. 休憩

15:15-15:30

次回、8月20日水曜日「ゴッホ展 家族がつないだ画家の夢」鑑賞会 @大阪市立美術館

<https://gogh2025-26.jp/works/>

10:00 現地集合 11:30 鑑賞後集合

11:45 から 12:45 昼食 Bellino いつものイタリアンランチ

Pranzo A (平日ランチ限定) 1,400円

「グリーンサラダ」 「本日のパスタ」 又は 「ピッツァ」 「自家製フォカッチャ」

3. 【可愛いイレーヌ】 彼女は何者？西洋画史上最も有名な美少女の末路とは！？

15:30-15:51

世界一有名な美少女とも言える「イレーヌ嬢」ですが、この子って一体誰👤？

おしとやかなお嬢様っぽいけれど、どうやら穏やかな人生ではなかった模様・・・

五郎さんがビシッと解説します👤 ナチスとの関連。



ユダヤ財閥の令嬢であり、結婚相手もユダヤ人、しかし子供二人を残して、再婚しカトリックに改宗。これが幸いして、ナチスの追求から逃れることができた。

彼女は、このようにしたたかでも長生きをしたが、子供たちはアウシュビッツで死んでしまう。前主人の遺産が転がり込んで晩年は放蕩三昧であったとか。

そして、ナチスから返還されたこの絵を大事にするでもなく、すぐに売り払ってしまう。

この絵に対する思い入れはなかったのだろうか。

4. 恐怖！身体に浮かぶ謎の斑点の正体は？【ムラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会】

15:51-16:12

ルノワールの名作、人体に謎の点々！？👤

ルノワールはなんでこんな斑点を描いたのか👤

人物表現にも、筆触分割を実践していたため。

五郎さんが印象派の裏話とともに解説します💎



鮮やかな色を出すための筆触分割、絵具を置くだけで表現するため、どうしても斑点が目立ってしまう。これでは売れる絵にならない。

ここから脱却して、少なくとも人物の顔や肌には筆触分割は止めた。

透明感のある肌を描くようになって、やっと肖像画の注文が来るようになった。

5. ルノワールが売れたきっかけの絵！？人生を変えた少女とは誰？

【印象派ルノワールの人生の転機！】

16:12-16:28

皆さんこの女の子、一度は見たことありますよね～

実はこの絵がきっかけで、ルノワールは売れっ子

画家になりました👤💎

この女の子は何者なのか？

是非チェックしてみてください💡



出版会社の社長の家族である。このころから人物表現に筆触分割を使わなくなって、絵が売れ始めた。ここから、生きた肌を描けるようになって裸婦像が描けるようになっていった。

肌を描いたルノアール、背骨を描いたモディリアーニと言われるようになっていくのである。